

# The V-Class



Mercedes-Benz



V 350 TRENDS

ボディカラー：アークティックホワイト

ゆとりの本質を、さらに極めた。

マルチ・パーパス・ビークルの先駆者、Vクラスが生まれ変わりました。よりダイナミックに、精悍になったエクステリア。質感高く、表情豊かになったインテリア。進化した安全性、さらに快適になった上質な走行性能。世界の指標であり続けるために。Vクラスならではの、7人の乗員全員に平等な心地よさと広大な室内空間とともに、マルチ・パーパス・ビークルの本物のゆとりを体现し続けます。



V 350 AMBIENTE long

ボディカラー：ブリリアントシルバー  
(オプション装着車)

## Contents

Exterior	02-05	Safety	12-13	Materials	18-19
Interior	06-07	Technology	14-15	Accessories	20
Utility	08-09	Equipment	16-17	Support	21

●本カタログに掲載の写真は一部日本仕様と異なる場合があります。

V 350 AMBIENTE long

V 350 AMBIENTE

V 350 TREND



V 350 AMBIENTE long

ボディカラー: サニデインベージュ  
(オプション装着車)



04 | 05

V 350 AMBIENTE long  
ボディカラー: オブシディアンブラック  
(オプション装着車)

心地よさを、洗練の個性で包んだフォルム。





広がるのは、快適と安心に満ちた上質なくつろぎ。

様々なシーンで、誰もが使いやすい。それが究極の証し。

クルマと過ごすすべてのシーンで、誰もが快適に使えること。

それが、すべてのメルセデスに貫かれている考え方。

Vクラスは、スライドドアやテールゲートの開口部を大きく取り、

1列目からラゲッジルームまでフラットで広いフロアを確保。

乗り降りや、荷物の積み下ろしなどの様々なシーンで、

マルチ・パーザス・ビークルとしての究極の使いやすさを追求しました。

さらに、V 350 アンビエンテとV 350 アンビエンテ ロングの

ラゲッジルームには、車高調整用のスイッチを装備。

車高を下げれば、重い荷物の積み下ろしも

驚くほどスムーズに行えます。

様々なシーンで、誰もが快適に使える実用性。

だからメルセデスは、その機能も究極なのです。



V 350 アンビエンテとV 350 アンビエンテ ロングはスイッチ操作で車高の上下が可能。

# Utility



V 350 AMBIENTE long

内装: アンスラサイト  
(オプション装着車)

## Utility

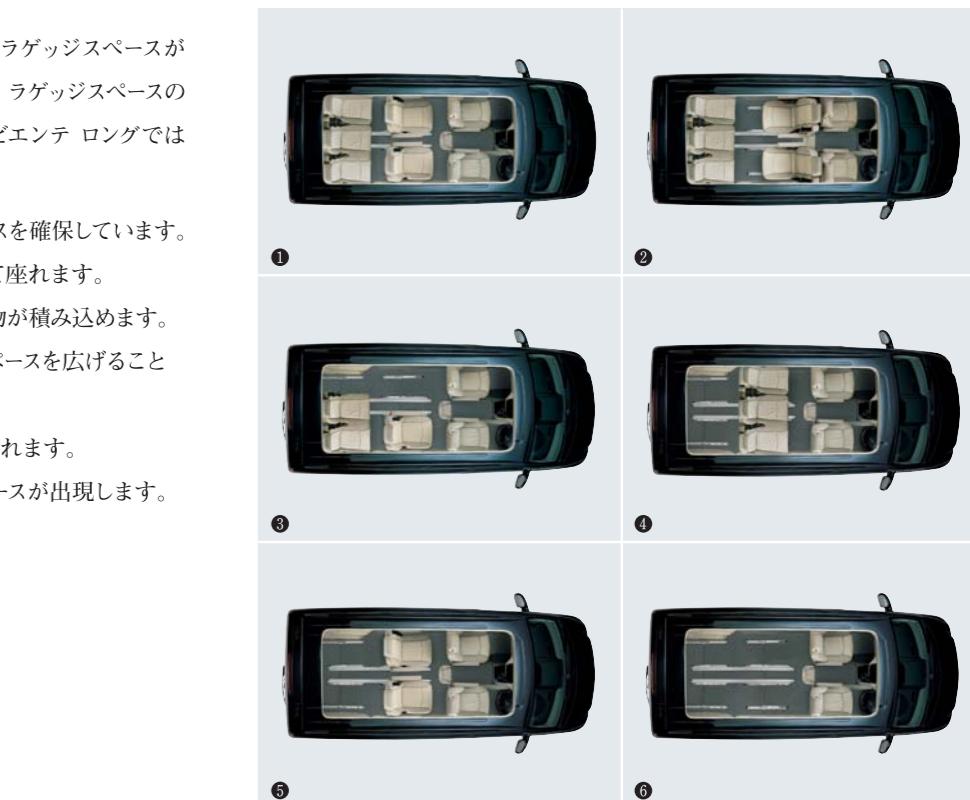
### 多彩な機能を備えた2列目／3列目シート

2列目シートには、アームレスト付の左右独立型キャプテンシートを採用。2列目／3列目シートは前後スライドやリクライニングのほか、背もたれを倒してテーブルとしても使えます。また、2列目シートを後ろ向きにセットすると、嬉しい会話がはずむ対座シートにもアレンジが可能です。

### 用途に合わせてアレンジできるラゲッジスペース

3列目シートは、背もたれを倒した状態で前方に引き起こせるので、大きなラゲッジスペースが得られます。さらに、脱着可能な2列目／3列目シートをすべて取り外せば、ラゲッジスペースの容量はV 350 トレンドとV 350 アンビエンテで最大4,500ℓ、V 350 アンビエンテ ロングでは最大5,000ℓにも達します。

- ① 7人乗り：基本的なシートパターン。定員乗車時も実用的なラゲッジスペースを確保しています。
- ② 対座シート：2列目を後ろ向きにセットした状態。後席乗員が向かい合って座れます。
- ③ 5人乗り：2列目の片方と3列目の1名分シートを取り外した状態。長尺物が積み込めます。
- ④ 5人乗り：2列目に3名分シートを装着した状態。スライドさせて足元スペースを広げることもできます。
- ⑤ 4人乗り：3列目をすべて取り外した状態。大きなラゲッジスペースが得られます。
- ⑥ 2人乗り：2列目／3列目をすべて取り外した状態。最大のラゲッジスペースが出現します。



Safety  
Technology  
Equipment



# Safety



## Safety

### 様々な方向からの衝撃に備える衝撃吸収構造ボディ

ボディ前部の余裕をもって設計されたクラッシュブルゾーンや、サイドメンバーの前端部に設置したクラッシュボックスなどにより、優れた衝撃吸収効率を確保。そしてキャビンは、強固な各ピラー やサイドウォール、ルーフフレームなどにより室内への影響を大幅に低減。衝突時の変形を効果的に抑制することで乗員の生存空間を確保するよう図っています。また、すべてのドアにスチール 製のサンドイッチ構造を採用し、高い強度とともに軽量化を実現しました。

### 最適な力で衝撃を吸収するSRSエアバッグと SRSソラックスサイドバッグ

運転席と助手席のSRS<sup>\*</sup>エアバッグには、衝撃の大きさに応じて展開の程度を2段階に制御するシステムを採用。SRSソラックスサイドバッグと相まって、シートベルトを正しく装着した乗員に加わる衝撃の軽減を図ります。また、2列目／3列目シートには、ISO-FIX対応チャイルドセーフティシート固定装置を備えています。



### 安定した走行姿勢を維持する、 ESP<sup>®</sup>(エレクトロニック・スタビリティ・プログラム)

コーナリング時にクルマの走行ラインが外側に膨らんだり、内側に曲がりすぎたり、危険回避のための急操舵時のスリップなどを避けるための機構。ドライバーがコントロールしきれなくなる前の早い段階で、安定した走行姿勢への回復を図ります。

\*SRSは、Supplemental Restraint System(乗員保護補助装置)の略称。エアバッグは、シートベルト着用を条件にその効果が発揮されます。安全のため全乗員のシートベルト着用をお願いします。原則として衝撃が軽度のとき、また一度展開した後には作動しません。運転席・助手席エアバッグは、前方からの衝撃により作動し、側面及び後方からの衝突や横転・転覆時には作動しません。ソラックスサイドバッグは側面方向からの衝撃により作動し、前方及び後方からの衝突時には作動しません。詳細及び注意事項については、車両ご購入後に取扱説明書をお読みください。

### 坂道発進を支援するヒルスタートアシスト

坂道発進時にセンサーが一定以上の傾斜を感じると、ドライバーがブレーキから足を離した後も約2秒間にわたり制動状態を保持。ブレーキからアクセルに踏みかかる際の突然の後退や前進を防止することでドライバーへの負担を減らし、安全走行をサポートします。

### 3点式シートベルト一体の2列目／3列目シート

脱着式の2列目／3列目シートとフロアのシートレールを強固な構造としたうえで、3点式シートベルトをシートに一体化しました。このため、シート位置にかかわらず常に安定した装着感が得られるほか、2列目シートを後ろ向きにセットした場合でも、シートベルトを適切に装着することができます。さらに、前席にはベルトフォースリミッター付シートベルトテンショナーも採用しました。

### 危険回避を助けるABS(アンチロック・ブレーキング・システム)とBAS(ブレーキアシスト)

ブレーキング時のホイールロックを抑えるABSとともにBASを装備。ブレーキを踏む速度が基準値を超えると緊急ブレーキであるとコンピューターが判断。より短い時間で減速するためのブレーキ操作をアシストします。

### 進行方向の視界を広げるコーナリングライトと アクティブライトシステム

ウインカー操作に連動してフォグランプが点灯し、進行方向内側の路面を照らすコーナリングライト。さらにステアリングを一定角以上切ると進行方向のフォグランプが点灯するアクティブライトシステムも装備しています。〈V 350 アンビエンテとV 350 アンビエンテ ロングに標準装備。V 350 トレンドにパッケージオプション設定〉

# Technology



## T echnology

### パフォーマンスと環境性能を両立させた3.5ℓ DOHC V型6気筒エンジン

心地よいシャープなレスポンスと経済性、低エミッションを高次元でバランスさせたユニット。バリアブルバルブタイミング機構が走行状態に即応して吸気・排気バルブの開閉タイミングを最適に調整。アイドリングや低中速での一定走行などには燃費が向上するように、また加速や高速走行時には出力をより高めるようにコントロールします。さらに、混合気の均一化を高めて燃焼効率を向上させる吸気管内の可変フラップや、電子制御式共鳴吸気マニホールドなども採用。これらの相乗効果によって、最高出力 190kW(258PS)/5,900rpm、最大トルク 340N·m(34.7kg·m)/2,500 ~ 5,000rpm のハイパフォーマンスと、優れた環境性能を実現しています。



### 操作しやすい位置にレイアウトされたティップシフト機構付電子制御5速A/T

D レンジにセットしたセレクトレバーを左右に動かすだけでシフトチェンジができる、スポーティな走行やエンジンブレーキの活用などに威力を発揮します。また、セレクトレバーがセンターコンソール部の運転席に近い位置にあるため操作も容易です。



### 常に一定の車高を保つセルフレベリング付リアエアサスペンション

電子制御のセルフレベリング機構が、乗車人数や積載量にかかわらず一定の車高を保ち、路面からのショックを効果的に吸収。上質な乗り心地と安定した走行性能を発揮します。また、停車時にはラゲッジルームのスイッチで車高調整も可能。車高を下げることで、荷物の積み下ろしがよりスムーズに行えます。

〈V 350 アンビエンテとV 350 アンビエンテ ロングに標準装備〉

理想を追い求めるからこそ、FR。

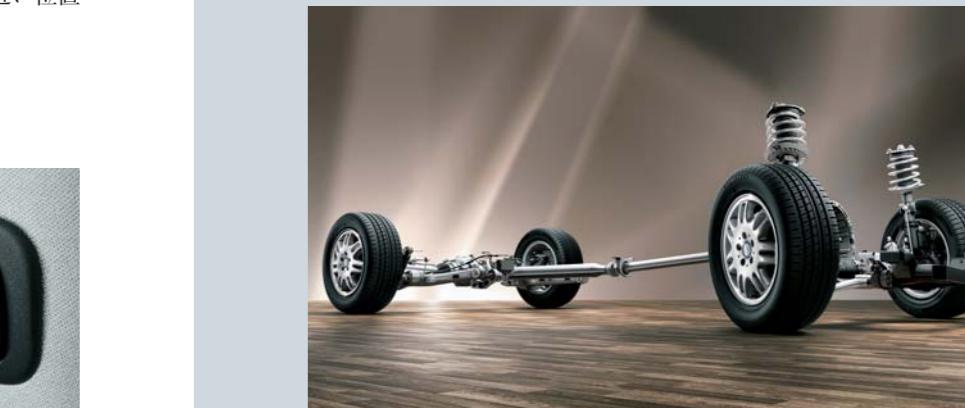
Vクラスは、メルセデス伝統のFRレイアウトを採用。

それは、安全で、快適で、上質なマルチ・パーザス・ビークルを実現するために、メリットの多い方式だからです。

FRは、エンジンと前輪の位置が自由に決められるので、クラッシュブルゾーンや前輪の切れ角を充分に確保することができ、取り回しやすさと安全性が向上。

また、大勢乗っても、たくさんの荷物を積んでも駆動力が路面にしっかりと伝わるので、走行安定性にも優れます。さらに長いプロペラシャフトが加減速のショックや騒音、振動を低減。

高級車にふさわしい上質な乗り心地が愉しめます。  
高い理想を追求するからこそ、駆動方式でも妥協はしません。



# Equipment



## Equipment



3通りのシート位置を記憶する  
メモリー付パワーシート【前席】

スイッチ操作ひとつで、メモリーされたシート位置に自動調整されます。  
〈標準装備またはオプション設定\*1〉



全席快適なクライメートコントロール  
(前後独立調整)

前席と後席で独立して温度設定が可能。後席用の吹き出し口は、2列目／3列目シートのルーフトリム部と2列目シート足元の計5ヶ所に設置しています。



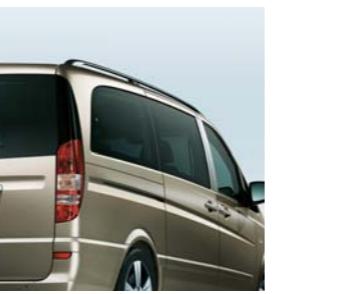
狭い場所での取り回しをサポートする  
パークトロニック

前後バンパー付近の障害物を感じて接近状況をインジケーター・アラーム音で知らせ、狭い場所での運転操作をサポートします。  
〈標準装備またはオプション設定\*2〉



路地などの安全確認をサポートする  
サイドビューカメラ

ドライバーから死角となる助手席側路面の画像を、ルームミラー内の液晶カラーディスプレイに表示し、狭い場所での運転をサポートします。



後席への日差しを和らげ外からの視線を遮る  
プライバシーガラス[2／3列目左右・テールゲート]  
2／3列目左右とテールゲートに遮光ガラスを装備。  
スライディングドアが、電動で開閉可能。リモコンキーでも操作できます。  
〈標準装備またはオプション設定\*2〉



室内に大きな開放感が広がるデュアルガラス・  
スライディングルーフ(挟み込み防止機能付)  
2／3列目シート用のドリンクホルダーとして  
使用可能。天板を広げれば便利なテーブルに  
なります。



ちょっとした軽食などに便利な収納式  
センターテーブル(スライド・取り外し可能)  
普段は2列目シート用のドリンクホルダーとして  
使用可能。天板を広げれば便利なテーブルに  
なります。  
〈全車にオプション設定〉  
※シートは日本仕様と異なります。

\*1:V 350 アンビエンテ、V 350 アンビエンテ ロングに標準装備。V 350 トレンドの運転席にパッケージオプション設定。

\*2:V 350 アンビエンテ、V 350 アンビエンテ ロングに標準装備。V 350 トレンドにパッケージオプション設定。

※装備についての詳細は、The V-Class Data Information (別冊)をご覧ください。またはメルセデス・ベンツ正規販売店にお問い合わせください。





## 全乗員がシートベルトを着用する。安全運転はそこから始まります。

このカタログでご紹介した走行性、快適性、安全性、環境適合性、それらはすべて、長い歴史の中で培われたメルセデスの真価です。そしていま、私たちがお届けするメルセデスは、最新の構造と機構を備えていますが、それでも決して完全に安全なクルマとは言えません。重要なのは、全乗員がシートベルトを必ず着用し、無理な運転を避けることです。ドライバー一人ひとりの協力がなければ、世界に先駆ける安全性も真価を発揮できません。人とクルマの輝かしい未来のために、あなたもぜひ安全運転を心がけてください。

■メルセデスの性能を有効に引き出し、機構を正しくお使いいただくために、ご購入の際は必ず取扱説明書をお読みください。

■Daimler AGでは、メルセデスの完成車両の品質を検査するため、工場出荷前に実走テストを行う場合があります。

そのためご納車時に走行距離の数値が増えている場合があります。

※使用した写真及びイラストは、実際の仕様と異なる場合があります。また記載の仕様は予告なく変更することがありますのでご了承ください。※版権は、Daimler AG及びメルセデス・ベンツ日本(株)に帰属しますので、無断転載を禁じます。※ESP®は、Daimler AGの登録商標です。※Bluetooth®は、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。※iPodは、Apple Inc.の登録商標です。※AdBlue®は、ドイツ自動車工業会(VDA)の登録商標です。※プラズマクラスターマークおよびプラズマクラスター、Plasmaclusterはシャープ株式会社の商標です。※Facebook及びFacebookロゴは、Facebook, Inc.の商標または登録商標です。※撮影・印刷条件により、ボディカラー及び内装などが実車と異なって見えることがありますのでご了承ください。※装備の詳細につきましては、別冊のData Informationをご参照ください。※このカタログの内容は、2014年4月現在のものです。

メルセデス・ベンツ日本公式Facebookページ、オープン。



ここでしか得られない旬な情報やメルセデスに関する最新ニュースを随時発信。  
メルセデスを通して、生活の中にある様々な楽しさの発見につながるような  
ユニークな情報を提供いたします。あなたの「いいね!」をお待ちしています。  
<http://www.facebook.com/mercedesbenz.jp>

メルセデス・ベンツ日本オフィシャルホームページ  
<http://www.mercedes-benz.co.jp>



オフィシャルモバイルサイト  
<http://m.mercedes-benz.co.jp>

総輸入元

メルセデス・ベンツ日本株式会社 〒106-8506 東京都港区六本木1-9-9 六本木ファーストビル  
お求めは、メルセデス・ベンツ正規販売店ネットワークへ。